

鹿嶋市立鹿島中学校

## THE コンプライアンス研修報告

1 場 所 鹿島中学校 図書館

2 日 程  
 • 15:50~15:55 校長先生からの説明  
 • 15:55~16:15 グループ別研修(20分)  
 • 16:15~16:25 各グループからの発表(10分)  
 • 16:25~16:30 総括  
 • 16:30 閉会

3 研修の進め方

(1) 校長先生からの資料説明及び教育長緊急メッセージの音読

- 教育長緊急メッセージ
- 【茨城県】過去12年間(H17~28)における懲戒処分の状況について
- 【文科省】H27人事行政状況調査・わいせつ行為等に係る懲戒処分等の状況
- よりよい職場環境づくりのために(教育は「信頼」の上に成り立つ)
- 信頼される学校するために(わいせつ行為の根絶)
- わいせつ行為に係る不祥事の根絶に向けて【今後の研修計画】



(2) 各グループで司会、発表者を決める。

A	B	C	D	E	F	G
木滝忠	栗	菊巒	篠塚	宮本	黒澤和	境田
平山	石津	三原	富塚	茂手木	鈴木	諸星
高森	伊藤	田村	石村	矢島	西尾	徳宿
矢幡	西川	遅澤	佃	下山	須藤	小牧

(3) 下記のテーマについて、各グループで協議する。

資料を参考にし、わいせつ行為の根絶に向けて、どのような取組を行っていったらよいか。

(4) 個人検討のタイム(付箋に自分の考えを記入する)



(5) グループ検討タイム(10分)

- ①KJ法を使い、付箋を類型化しながら積極的に話し合いをする。
- ②主な取組をグループ内でまとめる。



(6) 各グループからの発表(協議したことを1分以内で報告する)



## (7) 発表内容

班	メンバー	発 表 内 容	共通項目
A	木滝忠	・1対1の対応はせず、チームで対応 ・ボディタッチ、メール、電話(個人的)等は絶対にしない。 ・教職員間の同僚性の構築 ・定期的なチェックテストの実施	<p>【生徒に対して】</p> <p>◇1対1の対応はせず、複数で対応する。 ◇ケータイ、メール等では、生徒と個人的なやりとりはしない。 ◇男女を問わず、生徒の体に触れたり身体的な表現は避ける。 ◇定期的なセクハラアンケートやチェックシートを実施して、実態把握の強化に努める。</p>
	平山		
	◎高森		
	◎矢幡		
B	◎栗	・1対1の対応はしない。 ・各自の居場所を明確にするなど、コミュニケーションを活発化する。 ・指導法等の交流を図る。 ・身体的な表現や触れるのはNG。 ・法の自覚をもてる研修の実施	<p>【教職員に対して】</p> <p>◇定期的な校内研修の実施 ◇教職員間のコミュニケーションの強化を図り、和やかな雰囲気づくりに努める。 ◇学年会等でも、わいせつ行為の確認を定期的に行うようとする。 ◇家族との触れ合いやプライベートな時間を大切にし、心にゆとりがもてるようにする。</p>
	◎石津		
	伊藤		
	西川		
C	菊巒	・指導の場を固定し、オープンにする。 ・ケータイでの連絡等の整備 ・教員間のコミュニケーションの活発化を図り、メンタルヘルスのチェックを行う。 ・定期的なセクハラアンケートの実施 ・監視カメラの設置	<p>【実践項目】</p> <p>学年会で、わいせつ行為防止のチェックシートを実施し、活用しながら話し合い、確認する。 (月2回実施) ※チェックシートは、資料P7参照</p>
	◎三原		
	◎田村		
	遼澤		
D	篠塚	・1対1の対応はせず、複数対応 ・校内巡視の強化 ・校内研修の充実 ・教師自ら社会人としての常識の意識化(外見、言葉遣い等)	<p>【実践項目】</p> <p>学年会で、わいせつ行為防止のチェックシートを実施し、活用しながら話し合い、確認する。 (月2回実施) ※チェックシートは、資料P7参照</p>
	富塚		
	◎石村		
	佃		
E	宮本	・生徒の体に触れない。 ・ケータイ、メール等では連絡しない。 ・指導の際は、複数で行う。 ・教師が一人でいる状況をつくらない。 ・家族との触れ合いを大切にする。 ・プライベートな時間を大切にし、ストレスの解消に努める。	<p>【実践項目】</p> <p>学年会で、わいせつ行為防止のチェックシートを実施し、活用しながら話し合い、確認する。 (月2回実施) ※チェックシートは、資料P7参照</p>
	◎茂手木		
	矢島		
	◎下山		
F	◎黒澤和	・1対1の指導は避ける。 ・生徒との個人的なやりとりはしない。 ・男女を問わず、親しい仲でも触らない。 ・教職員間では、声をかけ合い、適度に会話できるような雰囲気づくりをする。 ・酒席では、乱れない。	<p>【実践項目】</p> <p>学年会で、わいせつ行為防止のチェックシートを実施し、活用しながら話し合い、確認する。 (月2回実施) ※チェックシートは、資料P7参照</p>
	鈴木		
	西尾		
	◎須藤		
G	境田	・指導等をする際は、適度な距離に配慮し、心の距離もコントロールする。 ・学年会等でもわいせつ行為の根絶について取り上げ話し合う。 ・部活動に関しては、男子顧問は男子の部活、女子顧問は女子の部活に固定する。	
	◎諸星		
	◎徳宿		
	小牧		

## (8) 総括

- わいせつ行為は、誰にでも起こりうる問題である。自分には関係ないと思わず、教職員一人一人が意識化を図ることで予防につながる。
- わいせつ行為は、理性のコントロールを失ったときに引き起こされる。人間には誰でも性的欲求がある。普段はそれを理性でコントロールしている。
- 教師という職業は、子どもたちの人間性を育む使命がある。